

東日本学園大学

学 長 安 倍 三 史



自然科学は技術を進めていく原動力です。平たくいうと、技術からの要請によって科学の新しい分野が開拓されていくし、技術が進歩することによって科学が発展していくものです。

科学 ⇄ 技術のように二者は深い唇齒の間柄です。歯科医学も長いこの過程を経て今日のレベルを構築しました。

世界も、時代も、科学も日を追って年を逐うて前進をつづけています。

今回発刊されたこの歯学会誌がその媒体となって新しい、そして高い科学と技術を生み出し、わが大学の水準を高める核となつてほしいと願っています。

ここに誕生したこの学会誌が大学と共に年を逐って充実していくことを祈って止みません。会員の諸君の研鑽を期待しています。